羽ばたけ！こどもたち

大堀　寛人

①

広島ぜーんぶが遊び場

自然や公園

最良の教室

広島市西区の三滝少年自然の家に出掛け、元気いっぱいの４、５歳児たち。市内の公園や広場、自然が遊び場だ　（園提供）

♪ほら、走ってごらん　ほら、走ってごらん　汗がいっぱい　ほら、はじけてる（中略）

草のにおい　おひさまの光　どろんこの顔の　きみが　きみが　きみが　きみが大好きさー。

生き生きとした歌詞でしょう。私たち「ぷれいすくーる・ちゅーりっぷ」のテーマソングです。屋外で思い切り遊ぶ園のこどもたちの様子にぴったりのこの歌を、みんなで元気よく歌っています。

「おはよう。虫かご持ってきたよ！」「僕、網持ってるよ！」。広島市西区にある園には毎日、市内全域から二―六歳のこどもたち約百二十人がリュックを担いで通って来ます。園に着いたら出席シールを張って、さあ出発の準備！こどもたちは、どんどん園外に出掛けます。

春のお花見、竹の子掘り、夏のキャンプや冬のそり遊び…。一年の大半を屋外で遊ぶのが「ちゅーりっぷ」流。晴れの日も雨の日も、風や雪の日も、こどもたちを山や川へ連れ出します。

「ちゅーりっぷ」には、園庭がありません。広島の公園や広場、自然のすべてが「遊び場」だからです。「遊び場」は毎日違います。その日何をするかで、先生たちが決めるのです。

レンゲ摘みなら飯室（安佐北区）の畑、ハゼ釣りなら太田川の河川敷、ザリガニ釣りなら武田山（安佐南区）。現地に着いたら、空と大地に「おはようございます！」とあいさつして、遊びの始まりです。園舎は、こどもたちが遊びに集う集合場所。行き先すべてが教室なのです。

こどもたちを取り巻く環境は、身近な自然や広場の減少で、遊び場や遊び仲間を見つけにくくなっています。そんな現代っ子たちに、自然の中で両手いっぱい広げて遊べる場を用意し、生々しい遊びの実体験を通してこどもたちの「生きる力」を育てたいと思い、三十年近く前に「ちゅーりっぷ」を立ち上げました。

どんなに科学技術が進歩しても、こどもたちにとって屋外での遊びは、最良の「学ぶ」手段であり、長い人生を歩むための土台作りー。日々、実感していることです。「遊び保育」の活動や狙い、成果を紹介しましょう。

（ぷれいすくーる・ちゅーりっぷ園長）

おおほり・ひろと　1948年松山市生まれ。和光大人文学部卒業。78年、広島市西区に認可外保育施設「ぷれいすくーる・ちゅーりっぷ」を設立。以来、園長を務めている。西区在住。